



黒崎中央小だより



子どもと
家庭と
地域と
学校と

令和3年7月20日
北九州市立黒崎中央小学校
文責 校長 村尾 隆
八幡西区藤田4丁目4-24

1学期間、ご協力ありがとうございました。

いよいよ子どもたちにとって楽しい夏休みがやってきました。1学期間、学校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましてありがとうございました。特に、休校措置等コロナ感染拡大防止に対してご心配をおかけした中、大変多くのご理解をいただき、あらためて感謝申し上げます。

さて、夏休みは日頃と生活のリズムが違うために、お子様のために気を付けていただきたいことがあります。

① 安全な生活を ※「夏休みのくらし」を守らせてください。

最近、コロナ感染だけではなく、事件・事故・災害等をニュースで見る事が多くあります。お子様が巻き込まれないように常に声かけをしましょう。

- 出かけるときは、場所・帰宅時間・誰と遊ぶかの確認をしましょう。
- 気象情報に気を付けましょう。特に暑い日は、水筒を持たせ、帽子を被らせましょう。また、大雨や台風などによる水害も懸念されます。大雨の日やそのすぐ後に、川や溝など水が流れているところには近づかないように注意しましょう。
- 車の多い地域です。交通事故、特に横断歩道や交差点などでの交通ルールをしっかりと守るように、自転車の乗り方で「止まれ」での一旦停止等を守るように言いましょう。また、道路では常に周りの様子に気を付けるように声をかけましょう。

※ コロナ感染拡大については、まだまだ心配です。引き続きご家庭でも、新しい生活様式に沿って行動できるように、お子様への注意喚起をよろしくお願いいたします。

② 夏休みならではの学習を

夏休みは、お子様たちにとって、自由な時間がたっぷりあります。一緒に食事をしたり、何か体験的な活動をしたりするなど、是非、一家団らんを深めましょう。

- 規則正しい生活をし、毎日勉強時間を決めて、自主的に学習する習慣を付けましょう。
- 興味のあるものや課題を見つけ、自由研究、創作・制作活動等に取り組みせましょう。
- 読書をさせましょう。

③ お手伝いで、いろいろな体験を

「真実は体験するもので、教わるものではない。」

古代ギリシャ時代から言われている言葉です。でも、コロナで外出機会がなく、また忙しくて家族の時間が合わなくて、いろいろな体験をさせられないご家庭も多いことと思います。

一番身近にできる体験は「お手伝い」です。ただ、家の仕事をするのではなく、考えて行動できるお手伝いができるとういことです。買い物に行ったが、頼まれたものがない。さあ、買わずに帰るか、ないとき「ママはきっとこれを買うだろうから」と考えて代わりの物を買うか、お手伝いを通じて家族の思いを考えられるようになれば立派な体験ですね。誰かに喜んでもらうこと。人の優しさや自然の美しさに感動すること。お手伝いを通していろいろな体験ができそうです。ご家族の方が喜ぶ姿を見せるだけでも有意義なことです。何か一つでも続けられるお手伝いをさせましょう。

それでは、暑い夏ですが、健康でよい夏休みになりますよう、職員一同願っております。

※ **2学期の始業式は 8月26日(木)です。**